

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

# RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル  
株式会社 ルネサス テクノロジ問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>E-mail: [csc@renesas.com](mailto:csc@renesas.com)

製品分類	開発環境	発行番号	TN-EML-A135A/J	Rev.	第1版
題名	H8/3064B E6000 (HS3064BEPI61H) の DMAC 使用時の RAM アクセス不具合について		情報分類	技術情報	
適用製品	H8/3064B 用 E6000 エミュレータ 型名: HS3064BEPI61H	対象ロット等  全ロット	関連資料	・H8/3064B E6000 エミュレータ ユーザーズマニュアル (RJJ10B0077-0200)	

弊社製品をご使用頂き、厚く御礼申し上げます。

H8/3064B 用 E6000 エミュレータ(HS3064BEPI61H)において、下記の不具合があることが判明しましたので、ご報告致します。

何卒、ご理解の上、ご使用頂きますようお願い申し上げます。

## 1. 不具合内容

### (1) 現象

DMA 機能を使用中、内蔵 RAM エリアへの書き込み時に、期待しない値を書き込んでしまう場合があります。

DMA を起動し、DMA サイクルの近傍で内蔵 RAM への書き込みサイクルが発生する場合に、書き込みサイクルの数サイクル後のリードデータを内蔵 RAM に書き込んでしまいます。

### (2) 原因

E6000 エミュレータに実装しているエミュレータ専用デバイス(HD64E3052)に起因します。

但し、不具合現象の発生はプログラムを含む動作環境により異なります。

### (3) 対象デバイス

HS3064BEPI61H がサポートするデバイスのうち、DMAC モジュールを内蔵した下記デバイスが対象です。

H8/3069RF、H8/3068F、H8/3067、H8/3066、H8/3065、H8/3052、H8/3048F-ONE、H8/3048、H8/3047、H8/3045、  
H8/3044、H8/3029F、H8/3028、H8/3007、H8/3006

## 2. 回避方法

エミュレータ専用デバイスの内蔵 RAM を使用せず、E6000 エミュレータの内蔵 ROM 代替メモリまたは増設メモリ (オプション)をご使用頂き、下記の回避策にてご対応をお願いします。

### (1) シングルチップモードでの回避方法

内蔵 RAM を使用せず、代替として内蔵 ROM 代替メモリを使用します。

\*内蔵 ROM 代替メモリ: 内蔵 ROM に対しての代替メモリです。E6000 エミュレータ上の SRAM により実現しています (ライト許可指定が可能です)。

#### <制限事項>

①使用デバイスと同一機能でかつ内蔵 ROM サイズの大きいデバイスを選択してください。

但し、内蔵 ROM 容量が 512k バイトの CPU 品種では使用可能な内蔵 ROM 容量が削減されます。

また、内蔵 RAM 使用エリアを暫定的に変更して頂く必要があります。

②内蔵 ROM エリアへのライトを許可するため、“Enable internal ROM area write”を有効にします。

(2) 内蔵 ROM 無効拡張モードでの回避方法

内蔵 RAM を使用せず、増設メモリ(オプション)を使用します。

\*増設メモリ:外部空間に対しての貸出メモリです。オプション品です。

<制限事項>

①お客様システム仕様に合わせて増設メモリを割り付けて頂くことになります。

このため、内蔵 RAM と同じバス幅(16bit バス)で使用できない可能性があります。

アクセスステートは Min3 ステートになります。

また、内蔵 RAM 使用エリアを暫定的に変更して頂くことになる可能性があります。

②本増設メモリでは 4M バイトの貸出メモリを実装していますが、本対策により 64k バイトの貸出メモリを使用します。

(3) 内蔵 ROM 有効拡張モードでの回避方法

お客様システム仕様に合わせて、上記(1)、(2)のどちらかの回避方法を選択してください。

3. 対策

エミュレータ専用デバイス(HD64E3052)の交換により対応予定です(2007年7月)。

4. その他

詳細につきましては、(株)ルネサス テクノロジ カスタマサポート部 コンタクトセンタ または  
(株)ルネサス ソリューションズ ツールビジネス本部 ツール技術部まで、お問合せくださいますようお願い申し上げます。

— 以上 —